

4ヶ月健診



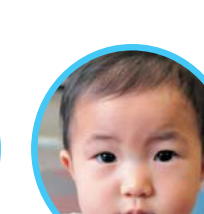
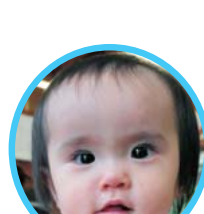
すくすく育て

乳幼児健診

平成 25 年 10 月 18 日 (清和保健センター)
平成 25 年 10 月 25 日 (千寿苑)



7ヶ月健診



1歳児健診



各学校で年間通しての体験授業

今年の5月から6月にかけて町内各地で行われた、田植え体験授業。町の基幹産業である農業を実際に体験し、普段何気なく食べている米を見つめなおし、食の大切さを学びました。10月に入り、その時植えた稲穂も大きく育ち収穫の時期を迎えました。各地で行われた稲刈り体験の中からいくつか紹介します。

矢部小学校5年生稲刈り&掛け干し

10月11日、矢部小学校の5年生児童が通潤橋前の棚田で稲刈り体験。はじめに千滝在住の野口さんから鎌の使い方、稲刈りのやり方などを教えてもらった児童は実際に棚田へ行き稲刈りを体験しました。刈り取った稲は10束ずつを藁紐で一くりにし、次は掛け干しにも挑戦。藁紐が緩く結びなおすといった場面もありましたが、2枚の田んぼの稲刈り、掛け干しを仕上げる事が出来ました。



白糸の棚田で実際に稲刈り体験



今は少なくなった掛け干しも体験しました

蘇陽南小学校5年生稲刈り&脱穀



雨の中、地元老人会の方に教わりながら



脱穀の貴重な体験もしました

10月15日、蘇陽南小学校の5年生児童が稲刈りの体験。地元の馬見原東部老人クラブの世代間交流も兼ねて、毎年小学5年生児童を対象に行われています。当日は小雨がばらつくあいにくの空模様でしたが、児童たちは稲刈りの指導を老人クラブの方たちに教わりながら体験。その様子を見守られていた老人クラブ会長の古川さんは、「農業を教えながら、自分たちも子ども達に元気をもらう事ができる。来年もこういった活動を続けていきたい。」と話されました。また、10月29日には稲刈りの際、掛け干ししていた稲の脱穀も体験しました。

国府高校生稲刈り体験

10月23日、入佐地区で国府高校生による稲刈り体験が行われました。稲刈りが行われたのは藤本完一さんが所有する田んぼで、今年の6月に同高校の生徒たちが植えたものです。この取り組みは実際に生産過程を生徒たちが実際に体験して、食の安全や大切さを深めてもらうため山都町有機農業協議会が中心になって毎年行っています。はじめ刈るのがぎこちなかった生徒たちも回を増すごとに上達し、生徒の中には、「上手く刈れるようになって、稲刈りが楽しくなってきた。」といった言葉も聞こえていました。



慣れない稲刈りも次第に上手に出来るようになりました。